

校区活動事例

西高宮校区：福岡県人隊 落語会 in 西高宮

期 日	平成30年8月8日（水）		
場 所	福岡市男女共同参画推進センター アミカスホール		
参加者数	大人70名 子ども30名		
主 催	西高宮校区青少年育成協議会		
協力団体	西高宮校区自治協議会		
準 備	広 報	周 知	自治協ニュースに掲載 小学校や西高塾、自治協全体会議で各種団体、 町内会へお知らせを配布
		募集方法	小学校、西高塾で集約 電話で直接申し込み
	事前打ち 合わせ	回 数	2回
		時 期	6/26、7/22
		内 容	プログラムの確認、広報準備 当日スケジュール、運営担当確認

■事業概要・目的

現代の子どもたちは、本を読んだり、ラジオを聞くことも少なくなり、頭の中で想像しイメージする力が乏しくなっています。そこで、イメージすることが必要な古典芸能である落語に子どもたちが気軽にふれ、想像する力をつけてもらいたいという目的で、自治協、町内会、各種団体の協力の下に青育連主催で開催しました。

■事業実施にあたって工夫した点、苦労した点

福岡に縁のある上方落語の噺家さんに「子どものための落語会開催を！」と熱く訴えて交渉しました。6月中旬にスケジュールが決まり、本番まで2か月でどれだけ周知できるかがポイントでした。自治協ニュースの掲載、町内会でのポスター掲示、小学校や西高塾でのお知らせ配布など多岐にわたって呼びかけました。しかし、酷暑のせいもあって、当日の参加者は思ったより少なくなりました。

子どもたちが親しみやすいように、特別に博多弁での落語も実演してもらいました。

■事業の成果、課題

子どもたちは、初めて生で聞く落語に目を輝かせて、独特の雰囲気を楽しんでいました。また、お囃子や三味線の演奏や解説、落語の所作の体験もあり、落語を理解し楽しむことができました。

今回は中学生に呼びかけをしなかったのが、次回は中学校はじめ大楠校区、高宮校区の協力も得て、中学生の参加も積極的に呼びかけたいと思います。



なごやかな会場風景
子どもも大人も
笑顔に包まれています

お囃子、三味線の実演や説明もあります
「三味線の皮は何で
できているでしょう」
知っていますか？



高座にあがって、所作を習いました。
そばを食べているように・・・
見えますか？